

アテムコ社の耐熱エポキシ接着剤

アテムコボンド 2200

「アテムコボンド 2200」は米国アテムコプロダクツ社の開発によるガラス繊維を混入して、抗張力を強化したエポキシ系接着剤です。セラミックと金属の接着や腐食したライニングなどの補修に使用します。

耐熱上限は204℃です。

特 性

「アテムコボンド 2200」は耐摩耗性と耐衝撃力に優れ、セラミックと金属の接着、特に絶縁シュート、ダクト、遠心分離機、その他腐食したライニングの張り替え、などの接着に適合します。

卓抜な耐摩耗性に加え、引張せん断力も2,300psiと大きく、又たわみ強度は13,400psi、絶縁性は460volts/milとなっています。酸、アルカリ、有機溶剤、塩等への耐薬品性にも優れています。

用い方

「アテムコボンド 2200」は赤茶色で2液混合タイプです。重量比でベース剤Bと硬化剤Aを1:1の割合で混合、塗布します。接着後は24～48時間常温乾燥させるか、80℃で4時間焼成することで硬化します。硬化後の製品は機械加工できます。硬化による縮みは0.009in/in、硬度はショアーD硬度88です。

荷 姿

1ペイント（約500ml）と1クオート（約1リットル）の広口缶入り。（いずれもベースと硬化剤を合わせた総量です。）



写真は金属への適用例